

令和5年度 児童発達支援自己評価表

山武市簡易マザーズホーム

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		
	②	職員の配置数は適切であるか		<input type="radio"/>	年度後半は厳しかった
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		建物の老朽化により限界はある
業務改善	⑤	保護者等向け評価表より、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか。	<input type="radio"/>		
	⑦	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	<input type="radio"/>		
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画書を作成しているか。	<input type="radio"/>		
	⑨	個別支援計画書には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		
提供	⑩	個別支援計画書に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		

	(⑬) 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画書を作成しているか。	<input type="radio"/>		
	(⑭) 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	<input type="radio"/>		
	(⑮) 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		
	(⑯) 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>		
	(⑰) 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しの必要性を判断しているか。	<input type="radio"/>		
関係機関や保護者との連携関係や保護者との連携	(⑱) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	<input type="radio"/>		
	(⑲) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		
保護者への	(⑳) 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		
	(㉑) 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	<input type="radio"/>		
保護者との連携	(㉒) 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		
	(㉓) 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレンット・トレーニング等）の支援を行っているか。		<input type="radio"/>	ペアレンットトレーニングプログラムの支援を行なっている機関を紹介している
保護者への	(㉔) 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		
	(㉕) 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された個別支援計	<input type="radio"/>		

説明責任等	画書示しながら支援内容の説明を行い、保護者からの同意を得ているか。			
	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。 ㉖	○		
	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。 ㉗	○		
	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 ㉘	○		
	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 ㉙	○		
	個人情報の取扱いに十分注意しているか。 ㉚	○		
	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 ㉛	○		
	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。 ㉜	○		地域育児サークル (現在、感染拡大防止のため中止)
	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 ㉝	○		
非常時等の対応	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 ㉞	○		
	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 ㉟	○		
	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。 ㉟	○		
	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 ㉟	○		
	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画書に記載しているか。 ㉟	○		